

■コメント

1. インフルエンザ

定点当り34.6人と、前週の約1.4倍に増加し、警報レベル(定点当り30.0人)を超えました。過去の事例から、警報レベルを超えた週か次の週にピークになることが多くなっています。

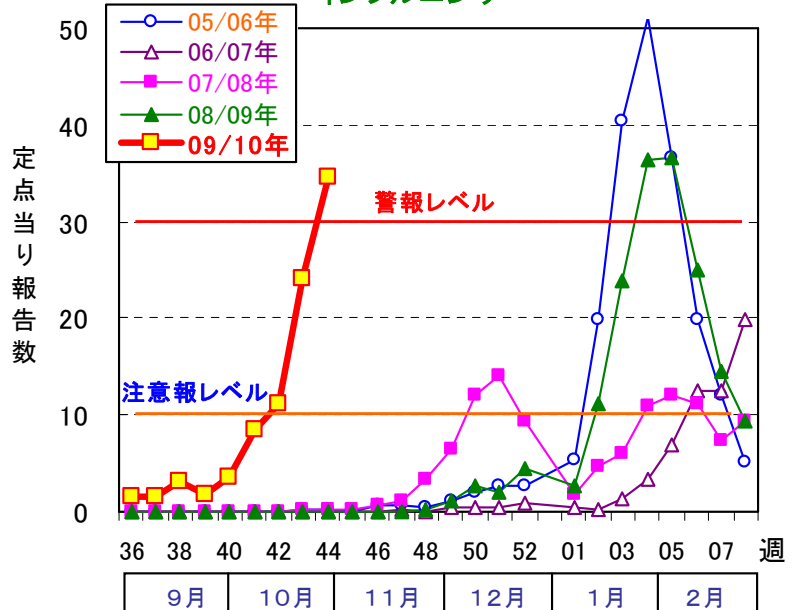
年齢別では、第44週に報告された1,247人のうち、5～9歳が471人(38%)、10～14歳が432人(35%)と、小中学生を中心とした年齢層が多くなっています。第42週以降、10～14歳の割合が低下し、5～9歳の割合が上昇する傾向にあり、低年齢層へ流行が広がる傾向がみられます。

大きな流行となっており、手洗い・うがいなどの感染予防対策を一層徹底することが大切です。

2. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、2009年の累計は20件(エイズ4件、HIV感染者16件)となり、これまで最も多かった2004年の年間報告数と同数になりました。

インフルエンザ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	1247	34.64	0.11	↗	ヘルパンギーナ	2	0.09	0.08	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.16		流行性耳下腺炎	13	0.57	0.88	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.52	0.93		RSウイルス感染症	11	0.48	0.26	
感染性胃腸炎	54	2.35	7.12	↗	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	20	0.87	1.03	↗	流行性角結膜炎	6	0.75	0.43	
手足口病	8	0.35	0.10		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	1	0.04	0.11		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発しん	19	0.83	0.60		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.29	
百日咳	5	0.22	0.05		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況(新型インフルエンザを除く)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	4	173	男性(40歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(90歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	36	女性(20歳代)・O157
5	後天性免疫不全症候群	1	20	男性(40歳代)・感染者

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	第40週	129	3	13	58	28	4	-	9	5	5	27	3	-	12	-	-	-	-
	第41週	308	3	14	74	14	2	-	16	6	2	27	1	-	7	-	2	2	-
	第42週	402	2	12	65	10	9	3	10	5	1	22	5	-	2	-	-	1	-
	第43週	871	4	11	66	15	6	-	12	3	1	33	9	1	9	-	-	-	-
	第44週	1,247	4	12	54	20	8	1	19	5	2	13	11	-	6	-	-	2	-
定点当り	第40週	3.49	0.13	0.54	2.42	1.17	0.17	-	0.38	0.21	0.21	1.13	0.13	-	1.50	-	-	-	-
	第41週	8.56	0.13	0.61	3.22	0.61	0.09	-	0.70	0.26	0.09	1.17	0.04	-	0.88	-	0.29	0.29	-
	第42週	11.17	0.09	0.52	2.83	0.43	0.39	0.13	0.43	0.22	0.04	0.96	0.22	-	0.25	-	-	0.14	-
	第43週	24.19	0.17	0.48	2.87	0.65	0.26	-	0.52	0.13	0.04	1.43	0.39	0.13	1.13	-	-	-	-
	第44週	34.64	0.17	0.52	2.35	0.87	0.35	0.04	0.83	0.22	0.09	0.57	0.48	-	0.75	-	-	0.29	-
全国	第42週	17.65	0.07	0.65	2.06	0.54	0.55	0.06	0.51	0.02	0.25	0.56	0.18	0.01	0.36	0.01	0.02	0.34	0.03
	第43週	24.62	0.08	0.82	2.37	0.64	0.44	0.06	0.52	0.02	0.20	0.84	0.19	0.02	0.41	0.01	0.03	0.37	0.02

■ 新たに判明した病原体検出状況(新型インフルエンザの検査結果は下表のとおり)

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	0	男	2009/09/24	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患(肺炎/間質性肺炎)	0	男	2009/09/26	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	女	2009/08/18	糞便	エコーウイルス9型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■ 広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

第44週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	19	21	1	1					42
入院サーベイランス	1	1				1			3
その他									
合 計	20	22	1	1		1			45

2009年累計(7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	49	86	16	2	2	1		3	159
入院サーベイランス	10	7	1	3		1	1		23
その他	3	5	3						11
合 計	62	98	20	5	2	2	1	3	193

- ・すべて広島市衛生研究所のPCR検査による確定例です。
- ・病原体サーベイランスは、病原体定点において原則ランダムにインフルエンザ様疾患の患者の検体を検査するものです。
- ・入院サーベイランスは、新型インフルエンザによる重症者の発生動向を把握するなどの目的で、入院患者の検体を検査するものです。
- ・病原体サーベイランスの患者で入院した場合は、入院サーベイランスに計上します。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2009年第44週(10月26日～11月1日)